



# 保健管理センターだより

今年のカレンダーも残り1枚になってしまいました。最近では、4月始まり、9月始まりのカレンダーも見かけますが、やはり1年の締めくくりには、12月がふさわしいような気がします。

身のまわりが何となくあたたかい時期ですが、この1年をふりかえってみる、心のゆとりも大切にしたいですね。

寒さも本格的になってきました。かぜをひかないように気をつけて過ごしましょう。

## 12月1日 世界エイズデー

この10年間の国内キャンペーンテーマから、HIV/AIDSとの関わり方を考えてみよう。

2002

「エイズ」目をそらさないで考えてみよう!

2003

「エイズ」知ろう、話そう、予防しよう

2004

“HIV”と“エイズ”の違い、知っていますか?

2005

エイズ…あなたは「関係ない」と思っていますか?

AIDS

2006

Living Together ~私に今できること~

HIV AIDS

2007

Living Together ~大切な人を守るために~

2008

Living Together ~ちょっとした愛からはじまる事~

2009

Living Together ~いま、何をすれば良いのか聴かせて?~

2010

続けよう ~Keep the promise, Keep your life~

2011

エイズとわたし ~支えることと防ぐこと~

2012

“AIDS” GOES ON...~エイズは続いている~

正しい知識と情報をもとに、あなた自身と大切な人の未来を守る努力は、これからも続きます。

参考:「APHNet エイズ予防情報ネット (エイズ予防財団)」

## AIDS

★発病すると、免疫システムが働かなくなり、さまざまな感染症にかかる  
★ヒト免疫不全ウイルス(HIV)の感染によって発症

●無防備な性行為で、感染する可能性が高くなります

感染リスクが高い行為とは



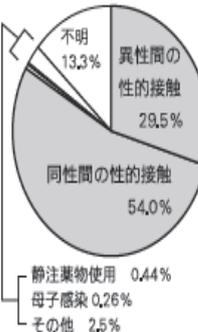
コンドームを正しく使用しない性行為



よく知らない人や多数の人との性行為

●日本の現状: これまでに13,704人が感染

(平成23年末までのHIV感染者の累計)



2011年末までに、日本国内でHIVに感染した人の約85%は、性行為によって感染しています。



◆「平成23年エイズ発生動向年報」厚生労働省エイズ動向委員会

## ウイルス + 性行為 で感染する病気があります

正しい知識と行動で、だれでも予防可能です

### 子宮頸がん

★子宮の入り口近く(子宮頸部)にできるがん  
★ヒトパピローマウイルス (HPV) の感染によって発症

●性交経験のある女性は、だれでもかかる可能性があります。

感染した人の一部が、がんを発症しますが、それは「あなた」かもしれません。

症状

- ・発症初期→自覚症状はありません。
- ・進行すると…
- 不正出血(月経時以外の出血)
- おりものの増加 など



●ワクチン接種によって、予防が可能です。

がんを発症させるHPVのうち、特に多いHPV16型とHPV18型の感染を防ぐワクチンがあります。

2種類あるワクチンから1種類を選んで、半年間に3回接種を受けます。

◆ワクチンの種類や費用については、医療機関に問い合わせ、接種を受けるかどうかは、家の人と相談して決めましょう。

## ほかにも、こんな病気があります

- ◆性器クラミジア感染症
- ◆性器ヘルペスウイルス感染症
- ◆淋菌感染症
- ◆尖圭コンジローマ
- ◆梅毒

- ・1人の人が、複数の感染症にかかることもあります。
- ・自覚症状がないまま、感染を広げる場合も。
- ・自然に治ることはありません。医療機関での治療が必要です。

## 海外型の風疹・はしかが急増

風疹・はしかは、妊婦が感染すると胎児に深刻な影響を与える危険があります。予防接種を受けていない方や、海外への出張・旅行を予定されている方は、特に注意してください。

◆はしか 麻疹  
20~30歳代の患者が増えています。重い合併症を起こすこともあります。

◆風疹  
30~40歳代の男性は、定期接種を受けていないため、風疹の免疫を持つ人がほかの世代より少ないという特徴があります。

日本国内でみられる風疹やはしかで、ヨーロッパや東南アジアなど、海外に由来する型のウイルスが急増しています。